

関東昆虫学研究会 第 5 回大会プログラム

日時 2022 年 2 月 19 日(土) 13:00～18:50

会場 Zoom によるオンライン開催

*URL は別途お知らせいたします

大会次第

13:00～13:10 開会 大会長 小野正人

13:10～13:15 Zoomによる大会進行について 大会事務局 原野健一

13:15～18:30 一般講演

1. クロマルハナバチ(*Bombus ignitus*)女王による巣の乗っ取りと引継ぎ行動について
○長島拓矢・小野正人(玉川大・院・農)
2. クロマルハナバチの雌における脳内アミン量のカーブ差の役割
○森上絢加・佐々木謙(玉川大・院・農)
3. クロマルハナバチ雌の変態期に生じるドーパミン関連物質の脳内量のカーブ差
○小沼貴文・佐々木謙(玉川大・院・農)
4. クロマルハナバチの雄における加齢による性行動活性の変化と脳内アミンの関係
○渡邊智大・佐々木謙(玉川大・院・農)
5. キアシナガバチ(*Polistes rothneyi*)の孤児巣におけるワーカー間順位と繁殖個体の関係について
○柴田雅也・小野正人(玉川大・農)
6. 日本産アシナガバチ類における警報フェロモンについて
○深川伸太郎(玉川大・農)・久保良平(玉川大・ミツバチ科学)・小野正人(玉川大・農)
7. キアシナガバチの警報フェロモンに対する生殖虫の反応
○石川直史(玉川大・農)・久保良平(玉川大・ミツバチ科学)・小野正人(玉川大・農)
8. ウロコアリ属のアリは餌とするトビムシを誘引する？
○小泉裕人(玉川大・院・農)・石間伊央里・寺崎雅人・松田真拓(玉川大・農)・宮崎智史(玉川大・院・農)
9. トゲアシヒメハナバチの採餌と燃料調節：追加報告
原野健一(玉川大・ミツバチ科学)
10. アベリアに訪花する昼行性スズメガ 4 種の吸蜜行動の違いと捕食リスクの関係
○木谷颯吾(八王子学園八王子高等学校)・津吹真(都立大・院・理)

(休憩 15 分)

11. トビイロケアリ女王の創設期間における食道形態の解析
○栗原雄太(玉川大・院・農)・千葉雄大(玉川大・農)・宮崎智史(玉川大・院・農)
12. 昆虫のカマ状前脚を作る仕組みの解明に向けて：カマバエの採集および飼育
○平石拓海・坂井貴臣・朝野維起(都立大・理)
13. フタホシコオロギのオスの配偶行動に対する性決定遺伝子の機能
○川又靖裕・池主格・宮崎智史(玉川大・院・農)

14. 九州中南部の圃場におけるツマジロクサヨトウの飛来時期の推定
○佐藤嘉紀(農大・院)・新谷喜紀(南九州大)・足達太郎(農大)
15. 都市と農村の『緑のオアシス』の昆虫相
平井一男(NPO 自然環境)
16. 八王子南部の谷戸水田に出現するトンボ目成虫の季節変化-5 年間の種の変遷について-
○小高武聖・岩見徳雄・田口正男(明星大・理工)
17. 玉川学園構内に生息する社会性カリバチの種構成と営巣場所
○西村正和・小野正人(玉川大・院・農)
18. 皇居吹上御苑(東京都千代田区)における甲虫相調査(昆虫綱, コウチュウ目)(第Ⅲ期)の計画と1 年次報告
○野村周平(国立科学博物館)・上田衛門・松原豊・亀澤洋・金子直樹・樽宗一郎(日本甲虫学会)
19. ここまで分かった! 流木の昆虫相
嶋本習介(農大・院・農)
20. サツマツチゴキブリの分類学的再検討
林幸希(農大・農)

18:30~18:45 総会

18:45~18:50 閉会 研究会会長 原野健一

○講演につづいて、質疑の時間を設けます。質問等がある方は Zoom の「参加者」ボタン内にある「手を挙げる」ボタンを押してください。

○講演キャンセル等があった場合、その後の講演を繰り上げて進行する場合がございます。

○本大会の一般講演などの録音、録画及び画面の撮影(動画とスチル写真も含む)は禁止いたします。

講演をされる方へ

○講演 12 分間、質疑応答 3 分間の計 15 分(1 鈴 10 分, 2 鈴 12 分, 終鈴 15 分)。

○発表の順番になりましたら, Zoom でパワーポイントのスライドショー等を画面共有し, 座長の合図で発表をはじめてください。

○不明な点等は大会事務局にお問い合わせ下さい。

大会事務局 原野健一 Email: kharano@lab.tamagawa.ac.jp

【参加者名簿は当日配布いたします】